

市民の皆さま  
参加予定アーティストの皆さま  
協賛企業の皆さま  
出展者の皆さま  
ボランティアスタッフの皆さま

## 奥野プロデューサーの解任にかかる経緯説明と今後の改善策について

大道芸ワールドカップ実行委員会  
委員長代理 猪股 宏光

この度は、前プロデューサー奥野氏の不適切な発言によって、市民の皆さまを初めとして、アーティスト、協賛企業、出展者、ボランティアスタッフの皆さまに、多大なご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。

今回の経緯と今後の改善策について、下記の通りご説明いたします。

### 1 経過のまとめ（詳細は（１）～（５）のとおり）

時期	内容	備考
6月	・今年度大会の方針決定 ・杉山委員長・奥野プロデューサー就任、新事務局発足	・アーティストを日本在住に限定（新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み）し、大会規模を例年より縮小
9月17日	・ポイントリーダー研修会開催	・奥野プロデューサーより、人種差別と捉えられるような資料配付・発言あり
10月7日	・奥野プロデューサー解任、杉山委員長引責辞任 ・記者会見の開催	・猪股副委員長が委員長代理、大長事務局長が組織管理責任者に就任 ・記者会見後、関係者へ個別に経緯説明
10月13日	・組織管理グループの発足	
10月17日	・2022大会の開催決定についての記者会見	

#### （１）今年の大会の方針

大道芸ワールドカップ in 静岡 2022 は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、海外からのアーティスト招聘を行わず、日本在住のアーティストを対象に開催することとし、大会規模の縮小を決定しました。

#### （２）事実の確認（9/17 ポイントリーダー説明会での問題発言）

ポイントリーダー研修会は、演技ポイントを担当するボランティアスタッフを対象に開いたもので、奥野氏や実行委員が講師を務め、大道芸ワールドカップの歴史や、イベントの意義、演技ポイントの運営等を学ぶものです。

この研修会で奥野氏は、「日本人パフォーマーによる日本人らしい祭典を目指す」をテーマに、自ら作成した資料に基づいて講演を行いました。その中で日本人の優れた面を強調するという名目で、テキストに中国の諺を示し「中国人は一人だと龍だが、二人だと虫になる」、「日本人は、一人だと虫だが集団だと龍のごとく力を発揮する」と書くなど他民族を引き合いに出して、その違いを恣意的に示すような表現がありました。

また、「中国の易姓革命は皆殺し文化である」との言動があり、歴史、文化のとらえ方に個人差があったとし

ても、差別的な言葉として受けとられかねない部分があったことも、本人からの聴取で確認されました。

会場からは、プロデューサーの偏った考え方に異を唱えるボランティアスタッフもあり、議論となるなど、参加者の多くに違和感を与える内容でした。

### **(3) 問題への認識**

奥野氏の資料・発言は大道芸ワールドカップの方針（広く海外に目を向ける、開かれた大会）から、大きく逸脱するもので断じて容認できません。

これまで、大道芸ワールドカップを応援して下さった、市民の皆さま、参加いただいたアーティストの皆さま、協賛企業の皆さま、出店団体の皆さま、大会を支えてくださる実行委員やボランティアスタッフの皆さまに対する裏切り行為であったと考えます。

### **(4) 組織の問題点と対応**

奥野氏の資料・発言には、差別的な内容があり、決して許されることではありません。

また、実行委員会が講演内容の事前チェックを怠ったため、資料をそのまま配布してしまいました。さらに、会場で異を唱える意見がありながら、修正・対応することができませんでした。そのため、実行委員会が組織的に差別的主義を容認しているとの疑念を与える結果となりました。

これは組織としてのチェック機能の欠如、現場任せにしていた実行委員会のガバナンスの欠落によるものです。これを受け、10月7日付けで、奥野プロデューサーを解任し、杉山委員長も引責辞任いたしました。

今後の対応としましては、ひとまず猪股宏光副委員長が委員長代理を務めます。また、再発防止のため実行委員会全体を見渡す横断的な組織「組織管理グループ」を新たに設置しました。このグループマネージャーには、10月13日付けで大長克哉事務局長が就任し、事務局長兼務とします。

「組織管理グループ」は、研修会の内容や用いられる文書をチェックするだけでなく、各部門の動きを集約して情報を管理し、また啓発活動を行うなどして再発防止に努めます。

特に差別については、人種に関するものだけでなく、様々な差別についてスタッフ自らが問題意識をもって行動することが大切です。そのため、今後は配布物や研修会などにおいて積極的に働きかけて差別に対する意識を醸成し、すべての人に開かれた大会を目指します。

### **(5) ご意見及び今後の対応**

アーティストの皆さま、協賛者の皆さま、出展者の皆さまには、電話などを通じて個別にご説明をさせていただいております。大会開催前に話し合いの場を求める声もございましたが、本番までの時間の中で、皆さまに責任をもってお話をし、ご意見を賜る十分な準備ができないのが実行委員会の現状です。

皆さまからさらなるご意見もあるかとは思いますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。今後も、多くの方の意見を伺いながら大会の在り方を検討してまいります。

改めましてここに、実行委員会は差別をしない、させない、許さないことを宣言するとともに、大会の最重要課題として取り組み、改善していきます。

以上